

走行チェックシート

日付	2012年9月9日 (日)	時間	~	イベント	2012MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦		
天気	晴れ	マシン	GSX-R1000 L2	ライダー	今野由寛		
コース	名称	オートポリスサーキット		気温	26	°C	
	コンディション	DRY		気圧	924	hpa	
	路面温度	40	(計測時間)	湿度	53	%	
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10		エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ 10W-40		
	ファイナルレシオ	15 × 42(2.8)					
トランスミッション	1st	A(36/17)	2.12	4th	B(31/21)	1.48	
	2nd	A(37/20)	1.85	5th	C(30/22)	1.36	
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	C(32/25)	1.28	
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-8		
	スプリング	10.25	N/m	OIL	SR6 #5		
	自由長	-	mm	油面	195	mm	
	イニシャル	16	mm	残ストローク	mm		
	COMP	-10		突き出し	STDトップブリッジで4mm突き出し mm		
リア	パーツ名	SHOWA(340mm)		TEN	-10		
	スプリング	130.0	N/m	残ストローク	mm		
	自由長		mm	リンク	SPL		
	イニシャル	12	mm	リンクロッド	-	mm	
	COMP(HI)	+3回転		車高	STD+24mm ピボット-2mm スイング長617.5mm mm		
	COMP(LO)	-3					
タイヤ	フロント			リア			
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ		
	サイズ	125/80/R420		サイズ	210/60R420		
	エア圧	2.1		エア圧	1.3		
チェック	順位	7位		ベストラップ	1'50.938		
	水温		°C	油温	°C		
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km	
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ	

<コメント>
 皆様こんにちは
 全日本選手権後半戦がスタートして2戦目となった今回九州ラウンド。
 スケジュールの関係から事前テストとレースウィークがつながっています。
 事前テスト1日目。1本目はかろうじてドライで走行することが出来ました。
 しかし、2本目はすぐに雨が降ってきて微妙なコンディションの中終了。3本目はフルウェットでの走行になりました。
 翌日から走行が1時間しかないためタイヤを選択しながらセットアップを進めていきます。
 山の上の天気なので予想より気温と路面温度が上がらなかつたりと、なかなかタイヤの選択もし切れません。
 何とかベースのタイヤを決めて車体ではフロントを少し下げたり、バネレートを探りましたがオートポリスに持ちこんだときに比べて大きく動きませんでした。
 しかし、リアの動き(落ち着きの無さ)を少なくするためにバネレートを上げていきました。
 バネレートを上げていくと動き自体は少なくなる方向になりますが自由度も少なくなります。
 予選はQ3で自己ベスト更新の1'50"938で予選9番手を獲得。
 朝フリーで落ち着きの無さを解消する方向でリンクロッドを変更。
 しかし、思ったフィーリングではなかったので決勝では元に戻すことに。
 決勝レースがスタートし序盤9番手を走行。思ったほどペースが上がリません。
 中盤以降まで順位は変わりませんでした。7位でゴール。
 ペースが上がらない原因としては、ちょっとリアのレートが高かったかなと。
 レートが高いとどうしてもストロークが少なくなってしまう。結果リアの動きは少なくなります。
 そうではなくて、少し低いレートでストロークをさせることでタイヤにかかる荷重は同じに出来ます。
 車体姿勢で少し補わないとずっと低く感じるというネガしか出なかつたりもしますが・・・。
 レートの硬さをストロークで出せばコンディションが変わっても修正しやすい(幅のある)マシンになったのではないかと思います。
 そんな反省点を踏まえて次回岡山！鈴鹿！！と全力を尽くして頑張ります。
 では皆様岡山でお会いしましょう。

レーシングサプライ
 畑中健太郎